



大学生による
地域課題調査事業

実施報告書

2011年6月17日～8月15日



主催

NPO法人 FUSE
ヒューズ

協力

香美市商工会

目次

1	背景	1
2	目的	1
3	大学生の力を借りて	1
4	実施概要	2
5	大学生の募集について	3
6	香美市八王子夏祭りインターンシップ	4~14
7	香美市物部町インターンシップ	15~20
8	来季に向けて	21
9	編集を終えて	22
10	大学生作成映像 	24

1

背景

もう聞き飽きた話で恐縮ですが、現在の日本は相変わらず長期の景気停滞が継続中で、解決の道筋はいまだ見えません。都会に富を集めて経済効率を高め、そこで生まれた富を地方に分配するというシステムは、どんどん先細っていくと思われまふ。経済成長を前提として、地方をよくするという発想は限界なのです。

地方は中央にこれまでのように頼れないのですから、新しいアイデアと価値観で今までにない地域づくりをせねばなりません。

2

目的

香美市を中心に学ぶ大学生により、香美市の中山間地域と地域の祭りを調査・体験してもらうことで、若者の視点から課題を発見してもらうことです。

目指すところは、第一に香美市の産業と文化を学び、身近に感じてもらうこと。第二に、大学の力を借りて地域課題の解決の道筋を見つけてもらうことです。

3

大学生の力を借りて

背景で述べた『今までにない地域づくり』というのは、言うは優しいですが、実際にどうするかと言えば、非常に難しいというのが現実です。

しかし我々NPO法人FUSE(ヒューズ)は、03年設立以来、大学生のキャリア支援に関わってきて、大学生と一緒に地域を考えるうちに、大学生の潜在力に対して確信を持ちました。そこで今年も香美市商工会のご協力のもと、夏祭りと地場産業の映像を作るという課題で、香美市で2年目のインターンシップを行いました。

全国的にも「チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト」という取り組みや、高知県でも南の風社が中心として設立した「NPO法人 人と地域の研究所」の取り組みなどがありますが、香美市ではその流れをくみつつ、新しい試みとして映像作成を課題としました。

この報告書には、大学生が作成した映像も一緒にまとめられています。紙からは伝わらない雰囲気もぜひ感じていただき、大学生との地位づくりの可能性について共感していただければ幸いです。

□ 香美市八王子夏祭りインターンシップ 6月10日～9月15日(11日間)

参加者：高知工科大学マネジメント学部 8名

場 所：香美市商工会 八王子宮(土佐山田町)

コーディネーター：香美市商工会 中井貴氏 青年部長 関田瑞穂氏

内 容：八王子夏祭りを商工会青年部の協力の下、体験・調査をしてもらう。この祭りは担い手不足が深刻になりつつあり、大学生からの新しいアイデアを求める。課題として、大学生には、3分程度の映像レポートを提出してもらう。また夏祭りの出し物についてステージイベントの企画・立案・実施を行ってもらう。

6月10日(金) インターンシップ説明会

6月16日(木) 前準備 香美市商工会

6月17日(金) 打ち合わせ

6月30日(木) 映像講習会(合同)

7月 7日(木) 広告制作 買い出し見学 打ち合わせ

7月21日(木) 草刈

7月23日(土) 買い出し 仕込み

7月24日(日) 八王子夏祭り(初日)

7月25日(月) 八王子夏祭り(2日目)

8月 6日(土) 報告会発表製作

9月15日(木) ワークショップ・報告会

□ 香美市物部町インターンシップ 6月17日～8月15日(10日間)

参加者：高知工科大学マネジメント学部 2名

場 所：香美市商工会物部支所

コーディネーター：香美市商工会 副部長 依光晃一郎氏

内 容：高知県香美市の山間部では過疎高齢化が深刻化しつつある。そこで大学生に地域の現状に直接触れてもらい課題や改善点のアイデアを求める。課題として、大学生には定期的にレポートを提出してもらう。この事業を通じて、大学生と地域住民との交流を深め、地域活性化を目指す。物部町湖水祭りでは作業日、当日の2回、地元で宿泊を行い、ヒアリングを実施する。

6月17日(金) 顔合わせ、インターンシップにおけるテーマ設定

6月24日(金) 課題発表、日程調整

7月 9日(土) 「龍馬伝」幕末志士社中開幕セレモニー視察

7月24日(日) 八王子祭り

7月31日(日) 湖水祭り灯籠作り

8月 9日(火) 議員インターンシップの学生と香美農林合同庁舎視察

8月11日(木) 湖水祭り準備

8月13日(土) べふ峡温泉手伝い

8月14日(日) 湖水祭り手伝い

8月15日(月) 祭りの後片付け

大学生の募集は、高知工科大学マネジメント学部より依頼を受け、大学担当者と話をさせて頂いた。大学のインターンシップ説明会に参加し、学生にインターン内容を説明した。他にも2ヶ所のインターンシップ受け入れ先があった。

FUSE の募集要項は、以下である。

説明会：6月7日（月）

□ 大学生の皆さんへ

香美市 地域インターンシップでは、以下の2つのプログラムで各5名の受け入れ予定です。

- 香美市八王子夏祭りインターンシップ 7月24日～7月25日
- 香美市物部町インターンシップ 6月中旬～8月末

我々香美市住民は、少子高齢化に悩む田舎の課題を、大学生のみなさんの若い視点と知恵で派遣し、問題解決の糸口を見つけたいと考えています。

我々から与える課題は、「香美市の魅力を情報発信する映像を作り発表する（祭）×3」というものです。

- 10日間の日程。（作業スケジュールは、インターン生でチームを作り、自分たちで作成）
- 最終日に地元の人を集めて、終了発表会（映像の上映会）

インターンシップの目的は、社会に出るための準備と聞いています。

企業・社会の求める人材像としてよく聞くものに、コミュニケーション能力がありますが、いったいどういう力でしょうか？会社に入った新入社員がまず戸惑うのは、自分の能力が想像以上に通用しない・発揮できないという経験です。会社は、大学までのように年齢も境遇も近い人ばかりではありません。立場も価値観も違う人たちと、議論をし、信頼関係を築いて仕事を進めて行かねばならないのです。

コミュニケーション能力とは、ただ単に敬語がつかえて、人当たりよく話ができるということではありません。人から「ありがとう」と言われる幸せな人生を送るために（社会を通じて、地域住民として）、意見の違う人に自分の主張を受け入れてもらうための努力の力であったり、課題に対して仲間と協力して成果を出すためのチームワークであったりと、死ぬまで磨いていかなければならない能力だと思います。

我々の提供するインターンシップは、皆さんのコミュニケーション力、社会人を試せるインターンシップです。意欲のある方の参加を心よりお待ちしております。

説明会には、マネジメント学部20名が参加し、八王子に14名。物部町に2名の希望があった。

6 香美市八王子夏祭りインターンシップ

6月10日(金) インターンシップ説明会

- 16:30～16:40 担当者紹介
▼
16:40～17:00 グループ自己紹介
▼
17:00～18:00 香美市インターンシップ説明

【課題となるスキル】

- ・コミュニケーション能力
- ・主体性

【活動を終えて】

自己紹介を普段の生活ではあまり行わないので、うまく自分のことを話せなかった。これからインターンシップをするにあたって自分が何者であるかを明確化していきたい。

6月16日(木) 前準備&名刺作り 香美市商工会

- 15:00～16:00 インターンシップ詳細説明



- 16:00～17:00 名刺作り



【課題となるスキル】

- ・社会人マナー
- ・傾聴力
- ・コミュニケーション能力

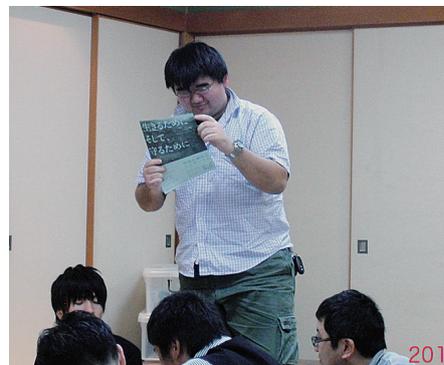
【活動を終えて】

名刺は自分自身のオリジナルのものを作ることができておもしろかった。自分の中で一つコミュニケーションツールを得られたことは、これから社会に出るに当たって大切になってくると感じた。

香美市八王子夏祭りインターンシップ

6月17日(金) 打ち合わせ

19:00~20:00 企画発表及び助言



20:00~21:00 企画の練り込み



【課題となるスキル】

- ・コミュニケーション能力
- ・課題発見能力
- ・分析力
- ・働きかけ力
- ・計画性

【活動を終えて】

企画作成は課題発見能力や分析力、創造力などの様々な力を集結させる必要があった。ただ、その中でも自分の役割を意識して動くことが必要であった。

香美市八王子夏祭りインターンシップ

6月30日(木) 映像講習会(合同)

13:00~14:00 映像制作の説明



14:00~17:00 映像制作(仮)

【課題となるスキル】

- ・傾聴力

【活動を終えて】

説明に耳を傾け、何が必要で、何が求められていて、そのために何をしなければならぬかを自分の中にしっかりと落とし込む必要があった。

7月 7日(木) 広告制作 買い出し見学 打ち合わせ

13:00~15:00 買い出し見学



15:00~17:30 打ち合わせ 広告制作



【課題となるスキル】

- ・創造性
- ・主体性
- ・発信力
- ・チームワーク力
- ・傾聴力

【活動を終えて】

何より創造性を働かせることが難しかった。その中で一人一人がファシリテーションを意識しなければ、話が進まなくなってしまうのだと感じた。

香美市八王子夏祭りインターンシップ

7月21日(き) 草刈

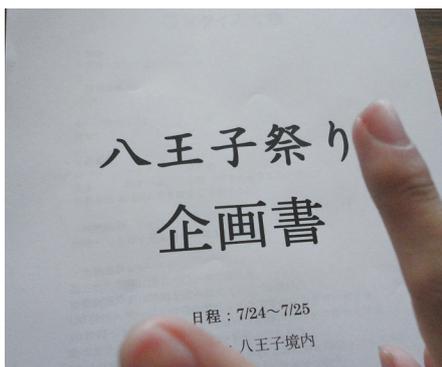
13:00~13:30 草刈準備



13:30~15:00 草刈



15:00~16:30 企画会議



16:30~17:00 企画進行の現状報告

【課題となるスキル】

- ・ 体力
- ・ 効率性
- ・ 働きかけ力
- ・ 状況把握能力
- ・ ストレスコントロール力

【活動を終えて】

皆で協力し、より早く作業を終了させることができた。今までの中で一番チームとして動いていた。

香美市八王子夏祭りインターンシップ

7月23日(土) 買い出し 仕込み

15:00～15:30 当日の動きの説明及び役割分担



15:30～18:00 準備[買い出し・仕込み・機材の洗浄]



18:00～18:30 当日の動きの説明及び確認



【課題となるスキル】

- ・ チーム力
- ・ 計画性
- ・ 状況把握能力
- ・ 主体性
- ・ 規律性

【活動を終えて】

今何が必要かを見つける状況把握能力とそれをすぐに行動に移す主体性をうまく掛け合わせる必要があった。仕事とは自分から見つけに行かなければならないのだと実感した。

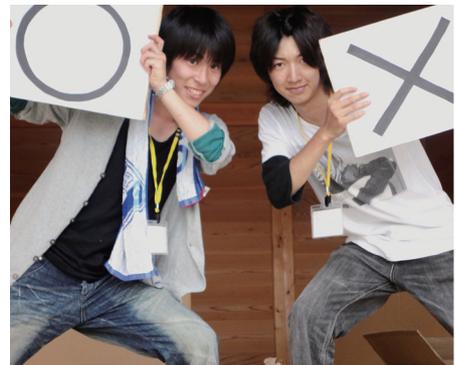
香美市八王子夏祭りインターンシップ

7月24日(月) 八王子夏祭り(初日)

10:00~13:00 会場準備[仕込み・物品搬送]



14:00~16:30 会場準備[調理・物品搬送]



16:30~21:00 夏祭り開始[販売・企画・売り子・調理]



21:00~22:00 片づけ・明日の準備

【課題となるスキル】

- ・ 課題発見能力
- ・ 状況把握力
- ・ 実行力
- ・ 主体性
- ・ 効率性

【活動を終えて】

ただ単に作業をすれば良いというわけではなく、効率性に重きを置きながら作業をする必要があった。より早く、より正確に、より行動的にこなさなければならなかった。

香美市八王子夏祭りインターンシップ

7月25日(月) 八王子夏祭り(2日目)

17:00~21:00 夏祭り開始[販売・売り子・調理]



21:00~22:00 片づけ



【課題となるスキル】

- ・ 課題発見能力
- ・ 実行力
- ・ 主体性
- ・ 効率性
- ・ 働きかけ力

【活動を終えて】

作業時間が夜10時を過ぎ、疲労が大きくなっているため、働きかけ力の重要性を感じた。それが「真のチーム」になる第一歩であるのではないかと沈潜した。

香美市八王子夏祭りインターンシップ

8月 6日(土) 映像報告製作

[各グループにより作成]

【課題となるスキル】

- ・ チームワーク力
- ・ 計画性
- ・ 柔軟性
- ・ 創造性
- ・ 発信力

【活動を終えて】

夏休みに突入してしまうため、行動プランを立てることで発表準備を念入りに行うことができた。一人一人が何を感じたかを映像に盛り込むことが難しかった。

9月15日(木) ワークショップ・映像報告会

18:00～19:00 映像準備



19:00～19:30 映像報告及び批評



19:30～20:30 インターンシップを終えて…

【課題となるスキル】

- ・ プレゼンテーション能力
- ・ 発信力
- ・ 論理性
- ・ 実行力
- ・ 創造力

【活動を終えて】

各グループの別視点から見る映像が見られておもしろかった。「何を伝えたいか」の中でも楽しさを視聴者に伝えられればいいなと感じた。このインターンシップを通じて自分自身を大きく成長させられた。

香美市八王子夏祭りインターンシップ

香美市インターンシップ



◆企業報告カード記入例

(学生 → 就職支援部 → 実習先企業様等)

インターンシップ 企業実習報告カード 企業報告用

企業名	香美市商工会 青年部				
期間	平成 23 年 6 月 15 日 ~ 平成 23 年 9 月 26 日 (実働 10 日間)				
所属	マネジメント 学群・学部 システム工学コース	学籍番号	1140434	氏名	小山 真美

- あなたが取り組んだ実習内容・テーマは何ですか？
祭りに行くイベントとグループ企画する。準備、祭り当日の商品の販売や後片付け、グループで実習についてムービーを作成、発表。
- 今回の実習内容・テーマに取り組むにあたり、どのような課題を設定しましたか？
商工会青年部の人、共に活動を行う学生たちと、積極的にコミュニケーションを取り、祭りを成功するための計画や活動を行い、それに積極的に参加する。人に何か指示されてから動くのではなく、何をすればよいかわからないから行動をする。
- 今回の実習でどういった成果が得られましたか？
祭りを成功させるという目標をもった仲間・組織と協力を行い、ことにより、目標に向けて協力し合うことができた。それは、仲間・組織の楽しさを知ることができて、仕事内容や給与などではなく、人間関係・周りの環境が大切だということを実感できて、これからの視野が変わった。たくさんの人とコミュニケーションをとることの大変さだけでなく、楽しさも知ることができて、もっとコミュニケーションを高めようという向上心ももてた。
- 今回の実習によって、あなた自身はどのように成長したと思いますか？
たくさんの人と何が一緒にすることが苦手でたので、このインターンシップに参加しようと思った。計画を立てるとなると消極的になってしまい、最初は自分の決めた課題を成すことはできなかった。けれども、祭り当日が迫ってくれて周りの雰囲気も変わってゆき、祭りを成功させるという目標を達成したいという気持ちが高まり、最初より周りの人とコミュニケーションもとれるようになった。このインターンシップで自分のコミュニケーションの未熟さを知り、これから力を付けたいという向上心が成長感と思う。
- 今回の実習を振り返って上記以外に感じたことなどはありますか？
組織ご目標を達成するために協力し合う楽しさを知ることができて、それを知らずと終る自分のモチベーションの落ちを実感し、やりがいの大変さを感じた。



小山 真美

(学生 → 就職支援部 → 実習先企業様等)

インターンシップ 企業実習報告カード 企業報告用

企業名	NPO 法人 ヒューズ (八王子宮夏祭り)				
期間	平成 23 年 8 月 10 日 ~ 平成 23 年 9 月 15 日 (実働 11 日間)				
所属	マネジメント 学群・学部 システム工学コース	学籍番号	1140458	氏名	西村 勇人

- あなたが取り組んだ実習内容・テーマは何ですか？
地元の若者の交流を深め、地域の活性化を目標とする。祭りを楽しみたいということ。
- 今回の実習内容・テーマに取り組むにあたり、どのような課題を設定しましたか？
地元の方々とふれ合いを促して祭りを実施する 2日間だけがあり、機会が限られて、とにかく祭りのときは自分自身の雰囲気の中にまぎり、存分に楽しむことと課題としました。また、祭りに参加し、準備や企画を進めていく中で、たくさんの方とのコミュニケーションをとる必要があると感じ、このことをテーマに設定しました。
- 今回の実習でどういった成果が得られましたか？
祭りは「2日間」という限られた時間にもかかわらず、準備段階ではかなり長時間をかけた。一発勝負の本番に向けて失敗しないようにするためには、前日までの準備が最も重要になるということも再確認できました。何かと成り遂げることが、支えてくれる基盤がしっかりしてあげればいいということ。この実習では「活き活きとした活気のある地元の姿」にふれられたと思いました。
- 今回の実習によって、あなた自身はどのように成長したと思いますか？
祭りに実施する中で、自分たちの企画したイベントを進行していく中、出店の際、たくさんの人と関わりを持つことができました。普段の大学生活の中で決して味わうことができない達成感や喜びを感じました。机で勉強しているだけの授業とは違う、このインターンシップにしかない大切な一体感や協働性、行動力など、みんなそれぞれ得られたものはそれぞれあると思います。これからの人生の中で役立てたいと思います。
- 今回の実習を振り返って上記以外に感じたことなどはありますか？
最後の映像発表会後、他のグループの映像と比較して「これが、有意義でいい、自分たちがそのイベントのほんまに楽しかった。準備から祭り本番まで、自分たちが、役を、頑張ってきた」という笑顔とあり、とても充実した日々になりました。



西村 勇人

香美市八王子夏祭りインターンシップ

◆インターンシップの成果

イベントを企画していく上で、普段話すことのない人とも協力し無謀だと思っていたことを一緒にやりとげることグループ内の繋がりが強くなり、また自分にも出来るということが分かり今後就職の際にも必要である自信を持つことができました。グループのみならず商工会の方々や地域の方々に関わることが多かったことで、他の企業以上にコミュニケーションを必要とされる環境がコミュニケーション能力を得るきっかけとなりました。そして将来地域により近い企業への就職を希望する私にとって地域の方々に関われ知れたことは大きなものとなりました。

岡本千温

今回の実習で感じたことは、お祭りをやる大変さです。今まで何気なく行ったお祭りが裏ではこんなにくまの人が動いていたということにおどろきました。しかしその大変な行事だからこそ「協力」と「分担」が大切だと思いました。自分から動き、自分から話しかけなければ何も動かないということがわかりました。今回の実習で「みんなで協力する」という課題を設定しましたが、それは自分から動くということなんだと思いました。

坂内美穂

今回のインターンシップによってまず、課題として設定していた、祭りの裏側を知り、どうやってそれを活かすかということは達成できました。コミュニケーション能力の向上に関しても努力できました。また、今回のインターンシップでは、今まで関わることの無かった地域住民の方と交流することで、土佐山田のことを知ることができ、地域についても興味がわき、最初の課題以外のものも得ることができました。

日野桂吾

今回の実習で得ることのできた成果は、自分たちで何かを成し遂げることの大変さを身をも、し知ることができたということです。私たちはグループごとに祭の中で簡単なイベントをしましたか、30分程度の短いものでも、準備に何日もかかり大変でした。

松本俊介

今回八王子夏祭り、学生がグループを作ってステージイベントを行うというものがあったのですが、参加してくれる人、見てくれる人が楽しんでもらえるより良いイベントにするため、何日もグループで話し合い、企画しましたが、当日、成功することができました。参加してくれた人も見てくれた人も、笑顔で楽しそうにしてくれていたのがよかったです。このようなイベントや売り子をし、祭りに来てくれた人々を楽しませることができたのではないかと思います。

坂口友理

私は、今回の実習を通して初めに設定した課題だけでなく、いろいろな成果を得ることができたと思います。例えば、地元住民の方々と交流を深めることで、自分のコミュニケーション能力も向上したほか、実習体験を通して、視野が広がり、就職への意欲も高まりました。また、自分の力を試すこともできたので、得たものがとても多く、その中から、今後の目標を見出すことができました。

豊島祐貴

香美市八王子夏祭りインターンシップ

◆インターンシップの成果

先程も述べたように、私達の学年は男女間での交流があまりありません。だから、インターンシップ中のグループでの話し合いは、あまり意見が出なかったり、会話がなくなったりと大変でした。しかし、お祭り本番に近づくにつれて、だんだんと意見が出し合えるようになり、本番も少し失敗はしましたが、何とかやりとげることができました。

濱岡 奈々

私は今回の実習を通し「僅かくことでお金をもらう責任の重さ」や「お客様とのコミュニケーションの楽しさ」を知ることができました。また、学生のメンバーだけでなく商工会青年部のみなさんともコミュニケーションを取ることができました。さらに、お祭りが地域或の人々のコミュニケーションの場となり重要なイベントであると感じました。

森本 直人

今回のインターンシップを通して、初めてお祭りの裏側を経験することができた。今までは客の立場でお祭を楽しんでいたけど、自分たちでイベントを考えたり、から揚げのイェ込みや買い出し、後片付けまでを、経験してみても、本当に大変だったけど、とてやりがいがあったし、こうやって裏方で頑張っている人たちがいるからお祭りは成り立っているんだということも分かった。

高山 莉菜

過疎化が進みつつある地域をいかにして盛り上げるか、また今回のインターンシップを通してそこからどのようにして地域活性化につなげるかを学びました。特に感じたのは、地域活性化のためには地域のみならず、特に高齢者の方と協力していく必要があると思いました。

林 優人

自分への課題を達成できたと思います。イベント企画では自分の意見を積極的に言い、準備も祭りが近づくにつれてやる気が増し、率先してできたと思います。お祭り当日も、地域の方に積極的に声をかけ話をしたりする機会を得ました。青年部の方やこのインターンシップに参加している同学部の人とも親交を深め、協力してお祭りを盛り上げるお手伝いができました。

藤村 莉菜

設定した課題のうち、社会人としての礼儀やマナー、言葉使いなどの一般的教養を学ぶことができたことは、これから社会に出て行く身として非常に大きな成果だった。また、自分が普段何気なく取っているコミュニケーションの重要性を知ることができたため、平日頃から意識してコミュニケーション能力を高めることができるようになったので、自分にとってプラスになった。

村上 麗

7 香美市物部町インターンシップ

1日目 6月17日(金)

13:30~14:30 高知工科大学
顔合わせ、インターンシップにおけるテーマ設定
課題:四国で地域活性の成功例を調べ次回発表

2日目 6月24日(金)

9:00~10:00 高知工科大学
課題発表、日程調整

3日目 7月9日(土)

9:00~10:00 高知駅
「龍馬伝」幕末志士社中開幕セレモニー視察



11:00~14:00 神池地区にて昼食会およびヒアリング
神池地区は高知県香美市物部町にある現在人口は約50人の小さな地区。
人口のほとんどが高齢者で占める典型的な限界集落。今回のヒアリングは神池地区の課題と問題点を探ることが目的であった。



神池地区の住民の方々昼食を作ってくれていました。



香美市物部町インターンシップ

神池地区の魅力その1「かかし」

神池地区は2010年度かかしコンテスト優勝2011年度2位の経歴があり、地区内では日常の風景にとけ込んだユーモアあふれるかかしを見ることができる。



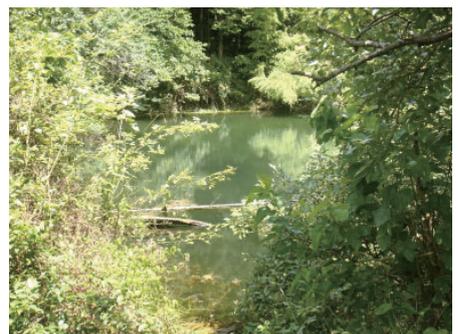
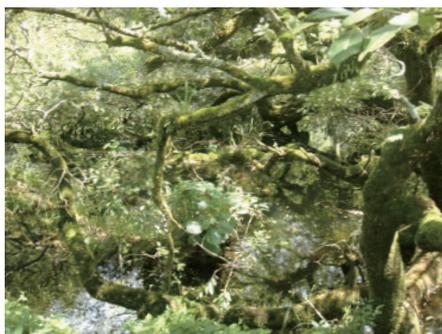
神池地区の魅力その2「大日寺の大杉」

周囲94m、樹高60m、樹齢800年。県指定の天然記念物
もとは境内に2本あったが大きい方を近世に入って軍用船材として伐採献納したとのこと。その切り株は今も残っているらしいが斜面が急で見つけられなかった。



神池地区の魅力その3「女池と男池」

女池の水面には県絶滅危惧種指定の水生植物ミズオオバコが群生



男池には大蛇が住んでいたという伝説がある

香美市物部町インターンシップ

今回のヒアリングにおいて神池地区の方々の地域を大切に思う気持ちや地域の課題、問題点等を知ることができた。このような人口の少ない高齢者の多い地区はどうしても元気のないイメージを持たれがちだが神池地区は昔から地域に根付くコミュニティをととても大切にしている、何か原動力となるものがあれば、人口以上の力が発揮できるのではないかと感じた。

15:00～16:30 べふ峡温泉にて視察

農林業や自然公園に被害を与える有害鳥獣として駆除されている鹿の肉を利用して地域振興に生かそうと、昨年11月からシカドッグの販売を開始。高知県の野菜と国産小麦を使用し「土佐の食1グランプリ」では見事優勝。



べふ峡温泉の所長さんに、鹿の食害の現状や課題、シカドッグ開発の経緯など詳しく教えていただいた。シカドッグは高たんぱくで脂肪が少なくヘルシーなため食べやすかった。近年のヘルシー志向の高まりから、これから鹿肉の需要は高まるのではないかと考えた。

4日目 7月24日(日)

16:00～20:00 香美市土佐山田町八王子神社
八王子祭り手伝い

5日目 7月31日(日)

7:45～12:00 香美市物部町大栃ふれあいプラザ
湖水祭りの灯籠作り

香美市物部町インターンシップ



全て手作業で5000個もの灯籠を地域住民の方々で作った。昔から受け継いできたこの作業は子供からお年寄りまでが集まる重要な地域交流の場となっている。男性陣が木枠を組み立て、子供たちがそれを集め、女性陣が木枠に和紙を張る。皆、毎年この灯籠作りで集まるのがとても楽しみだという。機械で作らず、あえて手作業で作ることにとっても意味があるのだと感じ、物部町の結束力の強さに驚かされた。

6日目 8月9日(火)

9:30~11:00

香美農林合同庁舎
議員インターンシップの学生と合同視察

7日目 8月11日(木)

7:30~11:00

香美市物部町大柝
湖水祭り準備
大柝高校グラウンド跡に出店の区画の線を引く



笹を集め配布し、ふれあいプラザ前に飾りつけ



香美市物部町インターンシップ



8日目 8月13日(土)

9:00~16:30

べふ峡温泉
べふ峡温泉手伝い

9日目 8月14日(日)

終 日

湖水祭り会場
湖水祭り手伝い
本祭当日はべふ峡温泉の方とシカドッグ等の販売を行った



香美市物部町インターンシップ



8日目 8月15日(月)

6:30~11:00 湖水祭り会場
祭りの後片付け

□ インターンシップ報告

私は地域振興に興味を持っていて、今回の実習において「観光」の観点から実際に過疎高齢化が進む地域に行き、現状を身をもって知ることをテーマとしました。実習を通して過疎高齢化が進む山間部での地域振興は考えていたものよりも難しいものでした。しかし、訪れてみることで新しい魅力を発見できたり、視野をひろげることができました。また、多くの年齢層の方と関わる機会が多かったのでコミュニケーション能力の向上ができました。今回の実習のテーマに対しては体験型の観光やイベント観光の企画を考えていきたいと思いました。

山岡 理紗

私は今回「環境」という観点からこの実習に取り組むことを決めました。物部町では多くの自然体験メニューが設けられており、環境意識の高い人、都心で普段自然とふれあう機会がない子供達にとって魅力的な場になると思いました。実際に訪れてみることでその地域で“今”問題になっていることがわかりました。また実習中には人の温かさが心の支えになることを強く感じました。

インターンシップでできたつながりを大切に今後も地域活性化に取り組んでいきたいと思いました。

川島 友李亜

□ インターンシップ

今回、香美市で2回目のインターンシップを実施したが、いくつかの課題はあるものの、地域活性のひとつの方法論として、非常に有望な可能性を感じることができた。

夏祭りに関しては、これまで毎年同じメンバーで、マンネリ化した議論で会議を行っていたが、そこに大学生が入るだけで、いつもとは違う新鮮な雰囲気の中で会議をすることができた。また年々青年部のメンバーが減少する中、マンパワーの面で、いろいろと壁にぶち当たっていたが、大学生が自ら主体となって、アイデアと労務を進んで引き受けてくれたので、非常に助かった。加えて、昨年手伝ってくれた学生が、今年も無償で参加してくれて、我々社会人と学生の間を取り持ってくれたこともありがたかった。

地域活性を考えると、人口減で、地域の担い手が少なくなっていく中、アイデアと労務を誰が引き受けるかという点は、非常に難しい問題だが、その2つを同時に解決してくれるのが、大学生ではないかと思う。

□ 3つの課題(スケジュール調整、コーディネーター、人件費)

今回、やってみるかまで分からなかった課題としては、大学生との調整である。大学生の本分は大学で勉強することである。しかし、地域の実情は、大学生のカリキュラムに合わせて日程(例えば祭り)を動かすことはできない。大学生の授業を優先し、空き時間でお手伝いを頂くとすると、細切れのスケジュール中で、やらなければならないことを詰め込んでいく必要がある。

大学生のカリキュラムを事前に把握し、大学生が授業を休むことなくインターンシップに参加してもらうには、大学とのスムーズな連携、大学生との親密度などがポイントになってくる。

また地域に大学生と地域住民の間に立って動けるコーディネーターの存在が不可欠であると思われる。今回は、地域の実情を知る香美市商工会指導員2名と、青年部長にコーディネーターの役割を果たして頂いた。

資金的には、香美市よりの助成を受けたが、コーディネーターへの人件費などは、全くお支払いできておらず、継続的な取り組みにするためには、人件費をどう確保するかも解決せねばならないと思う。

□ コーディネーターについて

コーディネーターの役割は以下のようなものである。

- ・地域に大学生を入れる下準備。地域への説明、協力要請。インターン内容の作成
→(地域での合意)
- ・大学側の地域への希望など意見交換。学生募集の要請。成績評価・保険などの確認。
→(大学との連携)
- ・参加大学生の希望をきちんと聞き取る。壁にぶち当たったときの相談相手。
→(大学生との信頼関係)
- ・大学生に会議などの時間と場所を連絡する。大学生の希望と、地域の要望とのマッチング
→(事務局機能・マネージメント機能・学習支援機能)

インターンシップレポート「香美市八王子夏祭り」

マネジメント学科2年 村上 麗

私はインターンシップを通して、社会人としての礼儀やマナー、言葉使いなどの一般的な教養を学べた。それはこれから社会に出ていく身として非常に大きな成果だった。また、自分が普段何気なくとっているコミュニケーションの重要性をグループ活動や夏祭り本番における販売作業時に気付いたため、常日頃から意識して日常の中で使われるコミュニケーション能力は高めることができるようになった。ただ「どんな状況下においても瞬時にその場に溶け込めること」や「どのような人に対しても自分を適応させられること」など社会人として必要なコミュニケーションの在り方を確立しているわけではなかった。これからそこをしっかりと意識しながら取り計らっていきたい。さらに今までは指示されたことを淡々とこなしていただけていたが、今回のインターンシップを受けて効率性を考えながら早く正確に作業をすることができるようになった。なぜなら指示されてから動くのではなく、その内容を予測した上で即座に取り掛かることができるようになったからだ。それは行動プランをしっかりと立てることができるようになったのも強く影響していると考えられる。以上のように今回のインターンシップを終えて得たもの・学べたもの・気付かされたものは多くあった。けれど、それ以上に「苦しさの中に楽しさを見出すというスキル」を得たことは大学の講義だけではなく NGO や自然団体などの社会活動を行っている身としても非常に大きな一歩だった。またそのスキルの大切さに気づき、学び、実践できるようになり、自分自身の「成長」のために大きく飛躍できるようになった。

今回のインターンシップを受けて決して欠かしてはならないものとして「地域活性」があった。地域活性とは地域に活気があること。果たしてその「活気」はどこから生まれるのか。私はそこに関わる全ての人による「地域を愛する心」から生まれるのではないかと思う。香美市夏祭りの最中に私は参加していた方々の本当に楽しんでいる笑顔を見るのが何回もあった。人は極限の緊張状態にあるときは心から笑うことができない。心から安心を感じた時に人は笑顔になれる生き物だと私は思う。しかし現在、地域社会が少子高齢化により衰退していき、その笑顔が全国で失われつつある。その上、笑顔もなくなると単に人がいるだけで地域が活性しているとは言えない。もちろんたとえ少数でもそこに「地域を愛する心」を持つ人がいるならば地域活性の形は存在し、少しずつ形成されていくものだ。それでもここに注意しなければならない点がある。それは地域を愛し、活気を継続させていくという考え方を持続させていく人がいなければ地域の光は薄れていってしまうことである。この考え方は諦めることだけではなく安定志向からも創出される危険性がある。つまりスティーブ・ジョブズ氏の述べた「常にハングリーであれ」という考え方は地域活性においても当てはまる考え方であると私は思う。だから私は常に地域の光を創出することをイメージに置きつつ、その地域だけでなく、世界から日本を眺め、日本から地方区分を眺め、地方区分から地域を眺めながら、地域連携を意識して地域活性を行っていきたいと思う。



村上 麗

編集を終えて

インターンシップレポート「香美市八王子夏祭り」

川島 友李亜

インターンシップを行い、実際に現訪れてみるまで私は高知県内出身者ということもあって中山間部の地区が抱える問題というのはある程度理解していたつもりで、何か地域活性化に繋がるようなことができるはずだと何の根拠もなく自負していました。しかし実際、地域は複雑で難易度の課題を抱えておりインターンシップという10日程度のくくりではその片鱗にしか触れることができないと感じました。そのため私はこのインターンシップが終了してからも地域のために自身ができることを見つけていきたいと思いました。社会人としての礼儀やマナー、言葉使いといった一般的な教養を学ぶことができたことは、これから社会に出ていく身として非常に大きな成果でした。また、自分が普段何気なくとっているコミュニケーションの重要性を改めて感じました。そして、インターンシップに費やした時間というのはその倍以上の経験という形で自分のもとに戻ってきました。ここで得た経験というのは普通の授業では決して得られるものではありませんでした。後輩の皆さんにはぜひインターンシップに参加し自らの強みや弱みを見つけるきっかけを作っていただきたいと思います。

また、今回の実施報告書は村上君と私が作らせていただきました。来年度インターンシップに参加する学生が香美市インターンシップの内容を具体的にイメージできるような報告書作りを心がけました。初めてのことばかりでしたが自分たちで意見を出し合いとても良いものを作り上げることができたと思っています。この実施報告書作成の過程もまた良い経験となりました。今回のインターンシップ及び実施報告書作成におきましては多くの方にお世話になりました。この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



川島 友李亜



八王子夏祭り映像A

録画時間：5分07秒

作成者：小山 真美

高山 莉菜

林 優人

藤村 莉菜

村上 麗

BGM：約束/湘南乃風



八王子夏祭り映像B

録画時間：6分05秒

作成者：坂口 友理

西村 勇人

豊蔭 祐貴

濱岡 奈々

森本 直人

BGM：シャカビーチ,
CHANGE/ UVERworld



八王子夏祭り映像C

録画時間：6分51秒

作成者：岡本 千温

坂内 美穂

日野 桂吾

松本 俊介

BGM：夏祭り/ Whiteberry
ピーチ/大塚愛



心からお礼申し上げます。

高知工科大学 マネジメント学部 教 授 未包 厚喜 様
高知工科大学 マネジメント学部 准 教 授 坂本 泰祥 様
高知工科大学 マネジメント学部 講 師 中川 善典 様
高知工科大学 マネジメント学部 教育講師 小林 泰則 様

香美市商工会 門田 貴司 様
香美市商工会 中井 貴 様
香美市商工会青年部 関田 瑞穂 様

制作著作：NPO法人FUSE (ヒューズ)
パンフレット制作者：川島 友李亜 村上 麗
代 表：中屋 進 (なかや すすむ)
住 所：〒782-0051 高知県香美市土佐山田町楠目446-2
E-mail：ky-adamy@xc4.so-net.ne.jp
U R L：http://www.fusing.jp/

